

## 自転車利用実態定点調査報告(A地点)

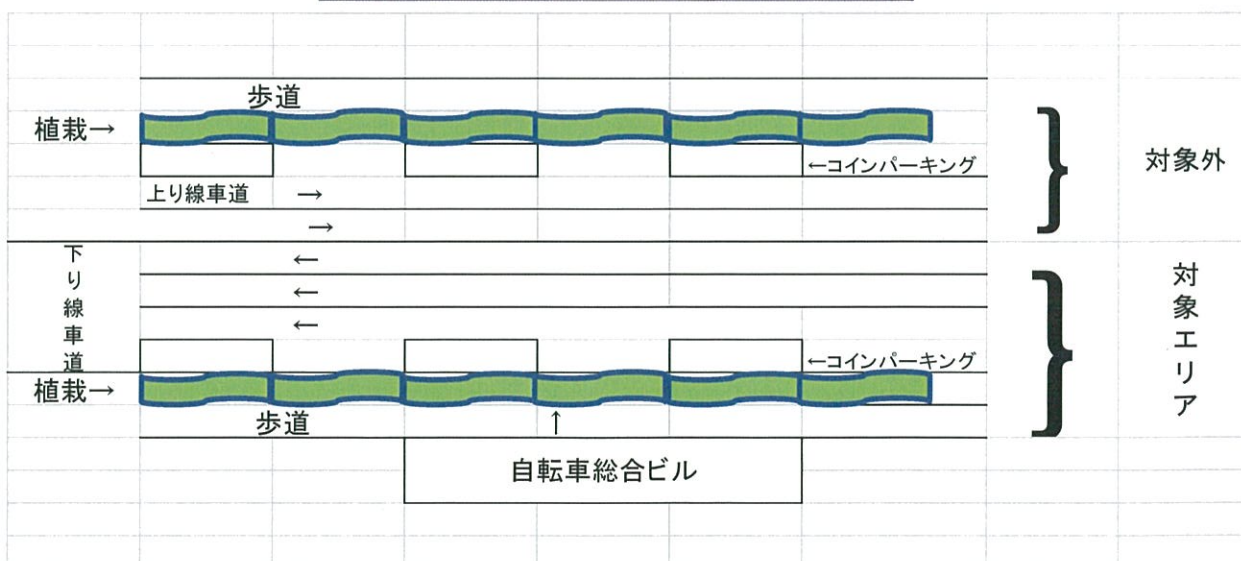
平成29年1月

(一財)日本自転車普及協会

**調査目的** 自転車は車道左側走行が原則であるが、実際の自転車の走行状況の実態を調査し、その状況の問題点を探り一般に公開することで、望ましい走行空間の再考資料としていただくことを目的に行う。

**調査日時** 平成28年12月6日～28日  
[午前]9:00～10:00、[午後] 14:00～15:00

**調査場所** ・ 自転車総合ビル前（目黒駅方面に 50m 程緩い下り坂）  
**概要** ・ 調査対象(車道線:目黒通り下り 3 車線[内側 1 車線駐車帯])  
(歩道:幅員 5m・植栽 1.5m～2mのため、実質通行幅 3m～3.5m)  
・ 調査対象外(車道線:目黒通り上り 2 車線[内側 1 車線駐車帯]及び上り歩道)



**調査事項** 走行空間調査(車道、歩道)と危険走行調査

自転車利用実態定点調査票

No.	走行空間				乗員		雨天		危険運転行為						
	車道左側	車道右側	歩道中央	歩道	1人	複数	雨	曇	携帯電話	スピード出しすぎ	片手運転	立ち寄り	ハンドルに荷物	後部席に荷物	その他
1															
2															
3															
4															
5															
6															
7															
8															
9															
10															
11															
12															
13															
14															
15															
16															
17															
18															
19															
20															
21															
22															
23															
24															
25															

調査日時：	平成 年 月 日 ( )
天気：	風速：
調査時間：	: ー : ー

<調査票>

[コメント]

◎走行空間においては、車道左側走行率は、14～25%と多岐にわたるが、平均すると20%程度である。

依然、歩道を通行する自転車が多く、今回も、全体の76%を占めている。同一地点(個別データ)においても、午前と午後で異なったデータとなっている。

◎危険運転行為等(違反行為を含む)は、肩に荷物(102件)・ハンドルに荷物(77件)・立ち漕ぎ(39件)・片手運転(38件/内5件は、携帯電話を使用しながらの運転)・歩道上でのスピードの出しすぎ(33件)・車道右側走行(26件)・過積載(20件)・脇見運転(11件)・子乗せ後部席に荷物掛け(\*1)(8件)・ジグザグ運転(7件)等の順となっている。

\*1 子乗せ後部席に荷物を掛ける事は、もし、気が付かない間に落下して、歩行者や自転車等に迷惑(通行障害・事故起因等)を及ぼしかねないので、基本、止めた方が望ましい。

## 【総合】

今回は、平成28年度第9回目の調査となり、平成28年4～12月分の9ヵ月期間の様々な点で比較してみた。

- ・利用者別                   今回は、午前が午後の利用者を上回った。
  
- ・車道左側走行率           今回(20.1%)は、前回(22.3%)の9割の水準である。  
                                  なお、午前(18.9%)は、前回(21.1%)の9割の水準である。  
                                  また、午後(21.7%)は、前回(23.3%)の9割強の水準である。
  
- ・子乗せ自転車            今回(24.6%)は、前回(30.2%)の8割の水準である。  
                                  なお、同自転車における同乗者あり(43%)の場合でのヘルメット着用率は、77%(週平均は、70～100%の範囲で推移)である。  
                                  今回(77.2%)は、前回(71.0%)の1.1倍の水準である。
  
- ・電動自転車               今回(41.4%)は、前回(43.2%)と同様の水準である。
  
- ・危険運転行為            上位3件別では、[肩に荷物・ハンドルに荷物・立ち漕ぎ]の順であり、期間中の共通項目は、肩に荷物・ハンドルに荷物である。  
(違反行為を含む)        一方、下位3件別では、[脇見運転・子乗せ後部席に荷物掛け・ジグザグ運転]の順であり、期間中の共通項目は、脇見運転・ジグザグ運転である。

なお、今回も、肩に荷物・ハンドルに荷物だけで、全体(370件)の約5割(179件)を占める形となった。

(危険防止の観点から籠の装備や荷台に装着等の必要性がある)

また、利用者全体(869名)における危険運転行為等(違反行為を含み370件)の比率は、39%(\*2)となっている。

\*2 実際は、1名で複数の危険運転行為等を実施している件(31件)も含まれるため

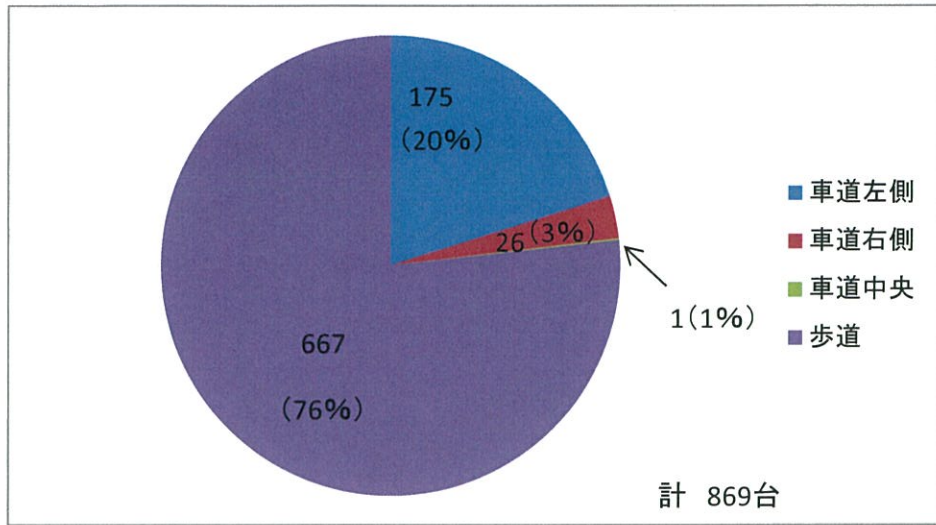
今回は、新たな危険運転行為は、発生しなかった。

なお、現在、調査地点の近くに臨時のバス停(1年の期限付き)が設置されているため、車道右側走行者は、バス接近時において危険な状況(同様にバス側からも対向車となり危険)となるため、速やかに止めるべき行為である。

今回の雨天時のデータは、傘さし運転者(計1人)に対し、合羽着用者(計2人)で2倍となっている。

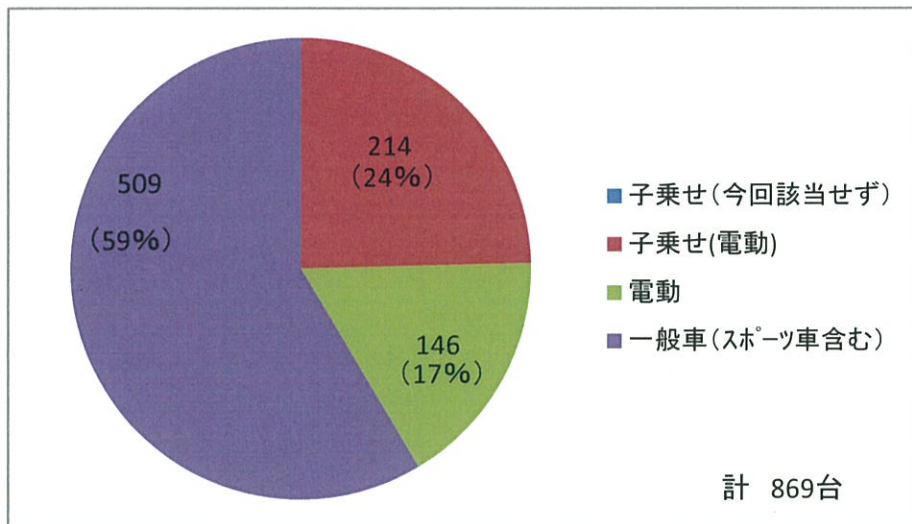
調査期間は、1日間であった。

\*参考として、昨年6月のデータでは、道路交通法が改正された初月でもあり、一部報道で合羽の購買額が増加した経緯もあり、調査期間4日間で、合羽着用者(計25人)は、傘さし運転者(計5人)の5倍であった。



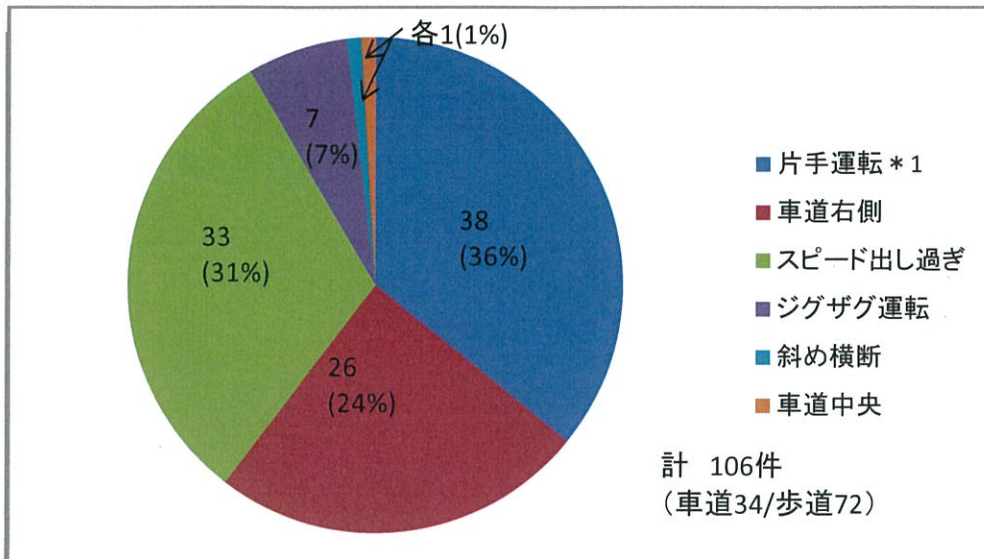
走行空間

調査期間 12/6~28



車種

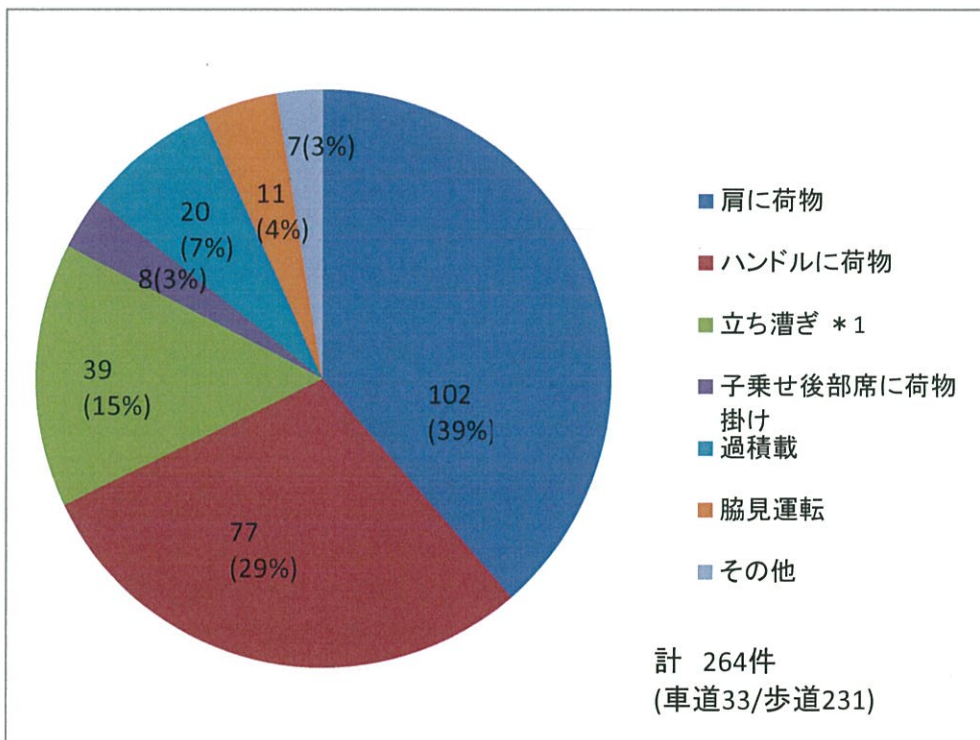
調査期間 12/6~28



違反運転行為

調査期間 12/6~28

\* 1 内5件 携帯電話を使用中の運転

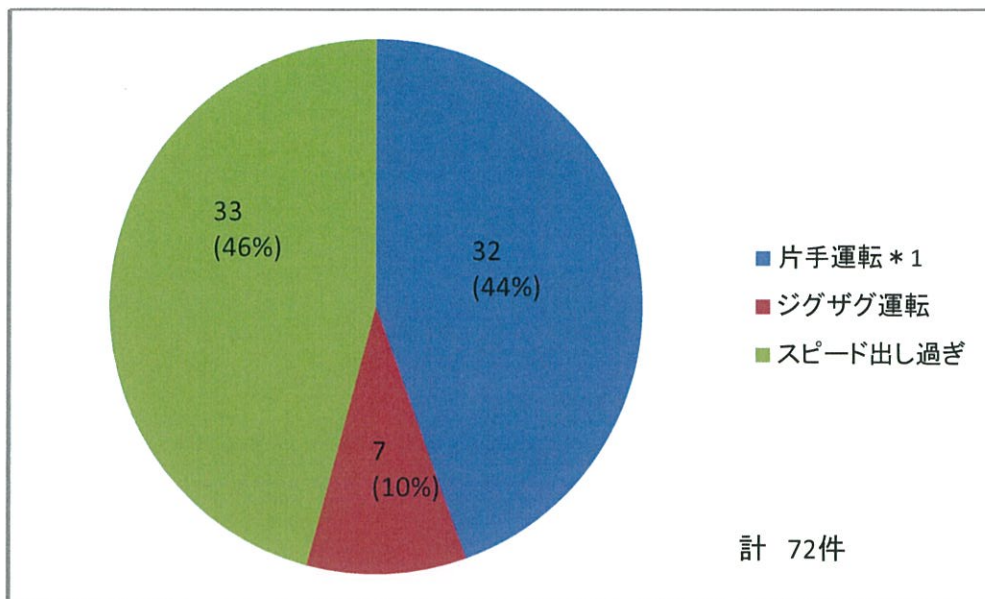


危険運転行為

調査期間 12/6~28

\* 1 比率内訳: 上り坂32・下り坂7

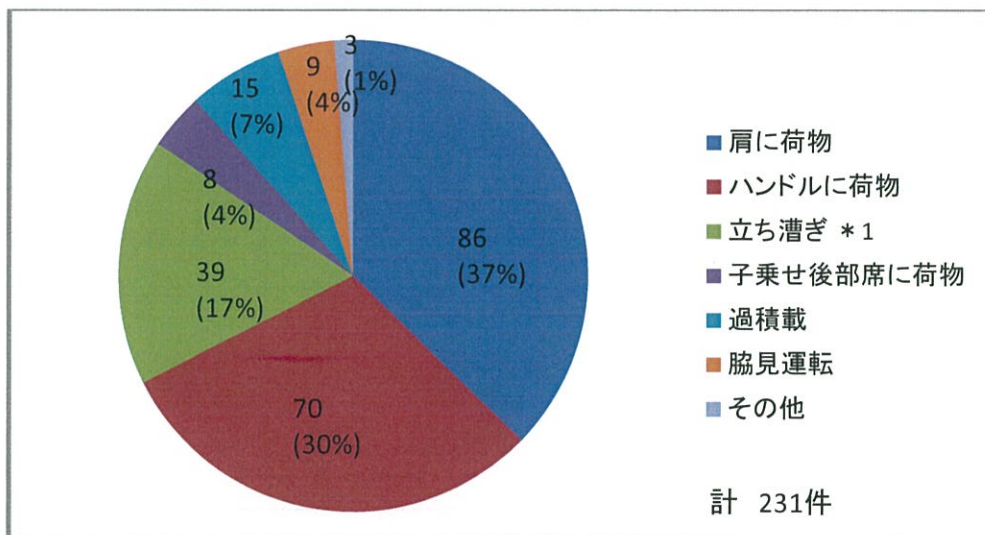




違反運転行為  
(歩道上)

調査期間 12/6~28

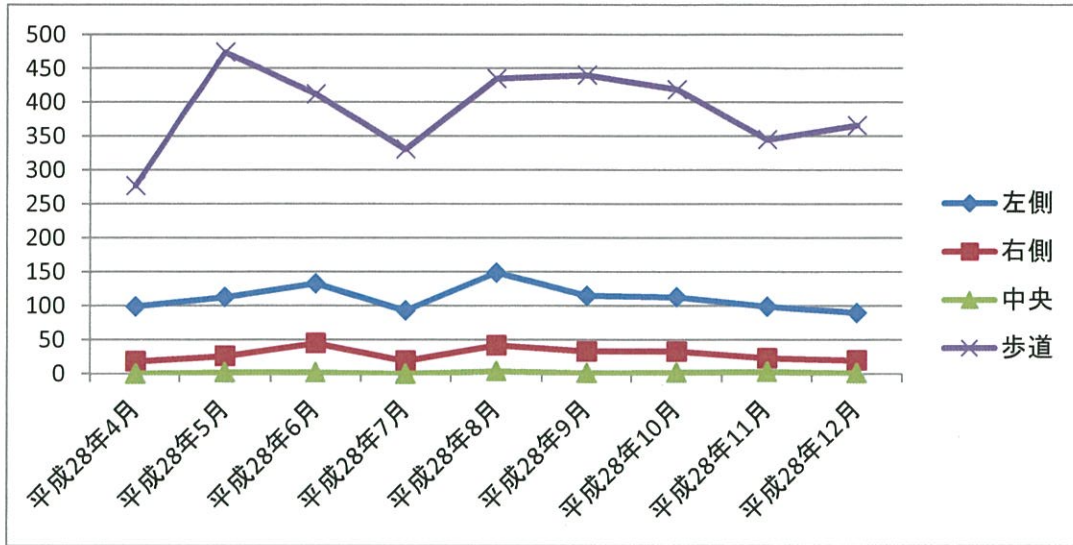
\* 1 内5件 携帯電話を使用中の運転



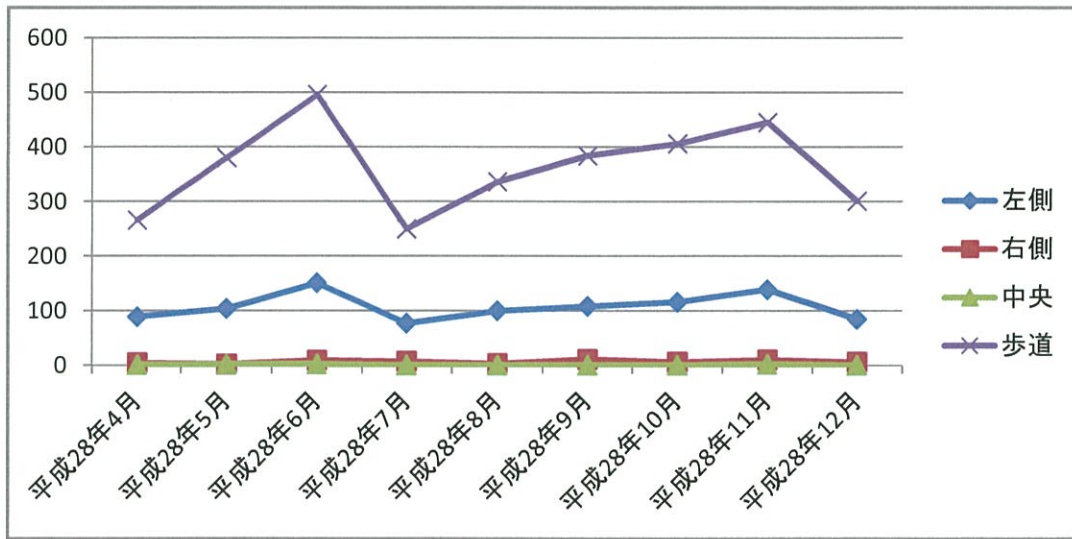
危険運転行為  
(歩道上)

調査期間 12/6~28

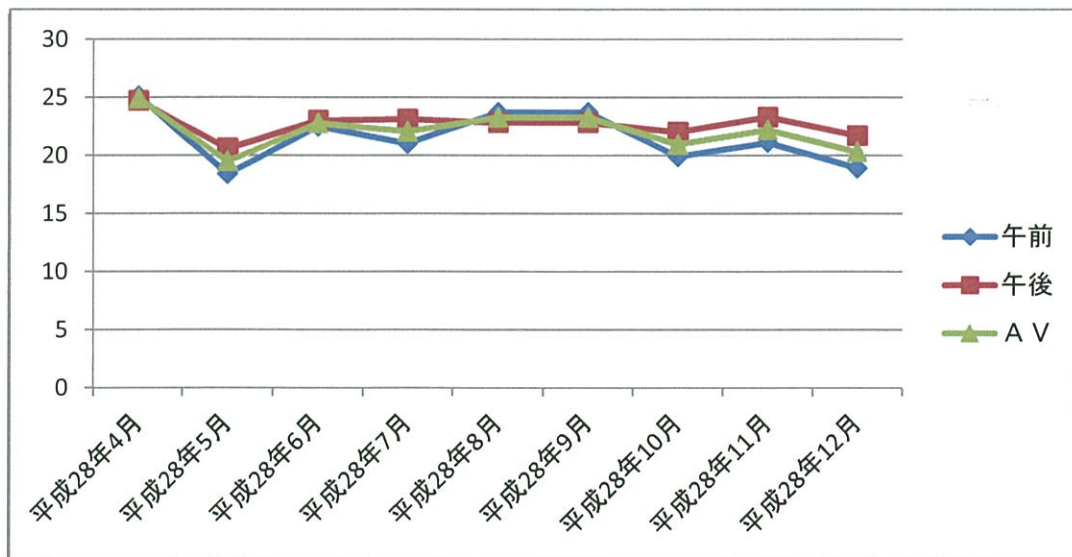
\* 1 比率内訳: 上り坂32・下り坂7



走行空間 午前 (台数)



走行空間 午後 (台数)



車道左側走行率 (%)





## 自転車利用実態定点調査報告（B地点）

平成29年1月

（一財）日本自転車普及協会

**調査目的** 自転車は車道左側走行が原則であるが、実際の自転車の走行状況の実態を調査し、その状況の問題点を探り一般に公開することで、望ましい走行空間の再考資料としていただくことを目的に行う。

**調査日時** 平成28年12月21日  
[午前]9:00～10:00

**調査場所** ・ 白金幼稚園前（庭園美術館西交差点(首都高速目黒線直下)から70m程の上り坂)

**概要** ・ 調査対象(車道線:目黒通り上り4車線及び歩道:幅員3.1m  
[一部歩道橋橋脚部分1.5mあり])  
調査対象外(反対側上り歩道)



上り線車道	歩道	← }	対象外 対象 エ リ ア
	←直進・右折レーン		
	←直進レーン		
	←左折レーン		
	←左折レーン		
	歩道	↑	
			白金幼稚園

調査事項 走行空間調査(車道、歩道)と危険走行調査

自転車利用実態調査結果表

No.	走行空間			乗車	乗入	危険運転行為						
	歩道	車道左側	車道中央			歩道	車道中央	車道左側	車道中央	歩道	車道中央	
1												
2												
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												

調査日時:	平成 27 年 12 月 11 日
天気:	曇
調査時間:	10:00 ~ 11:00

<調査票>

[コメント]

◎走行空間においては、車道左側走行率は、18%であり、また、車道中央走行率は、27%であり、依然、歩道を通行する自転車が多く、全体の5割を占めている。

◎危険運転行為(違反行為を含む)は、車道中央走行(18件)・肩に荷物(10件)・ハンドルに荷物/立ち漕ぎ(各3件)・片手運転・脇見運転(各1件)の順となっている。

【総合】

今回は、前回に調査したデータ及び下り地点(自転車総合ビル前の12/22午前)とのデータについて以下の項目について比較してみた。

・車道左側走行率

今回(18%)は、前回(29%)の6割の水準である。

上り地点の白金(以下、上り地点と呼称・18%)に対し、下り地点の自転車総合ビル前(以下、下り地点と呼称・23%)と8割の水準である。

#### ・子乗せ自転車

今回(9%)は、前回(25%)の約 4 割の水準である。

上り地点(9%)に対し、下り地点(21%)の約 5 割の水準

なお、同自転車における同乗者あり(33%)の場合でのヘルメット着用率は、100%である。

今回(100%)は、前回(83%)の 1.2 倍の水準である。

さらに、ヘルメット着用率の上下線での比較として、上り地点(100%)に対し、下り地点(75%)と約 8 割の水準

#### ・電動自転車

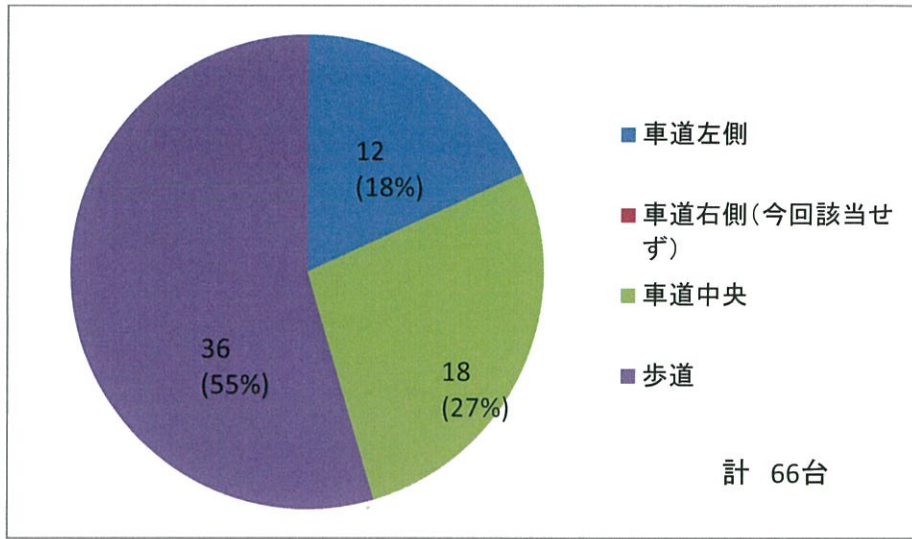
今回(26%)は、前回(37%)の 7 割の水準である。

上り地点(26%)に対し、下り地点(40%)の約 7 割の水準

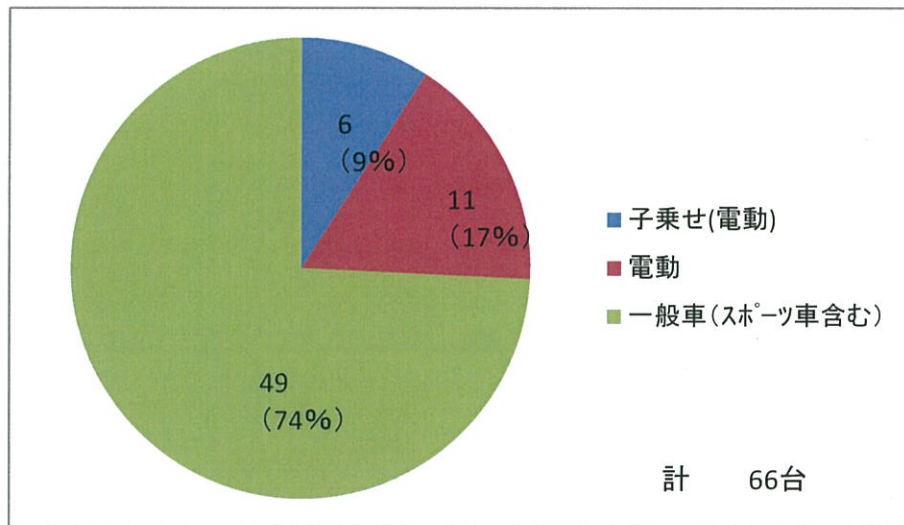
・危険運転行為                    上り地点の [車道中央走行・肩に荷物・ハンドルに荷物] に対し、下り地点では [肩に荷物・ハンドルに荷物・片手運転] と、(違反行為を含む)                    共通項目は、肩に荷物・ハンドルに荷物の 2 件となっている。

なお、中央走行者については、依然として電動自転車を使用していない。

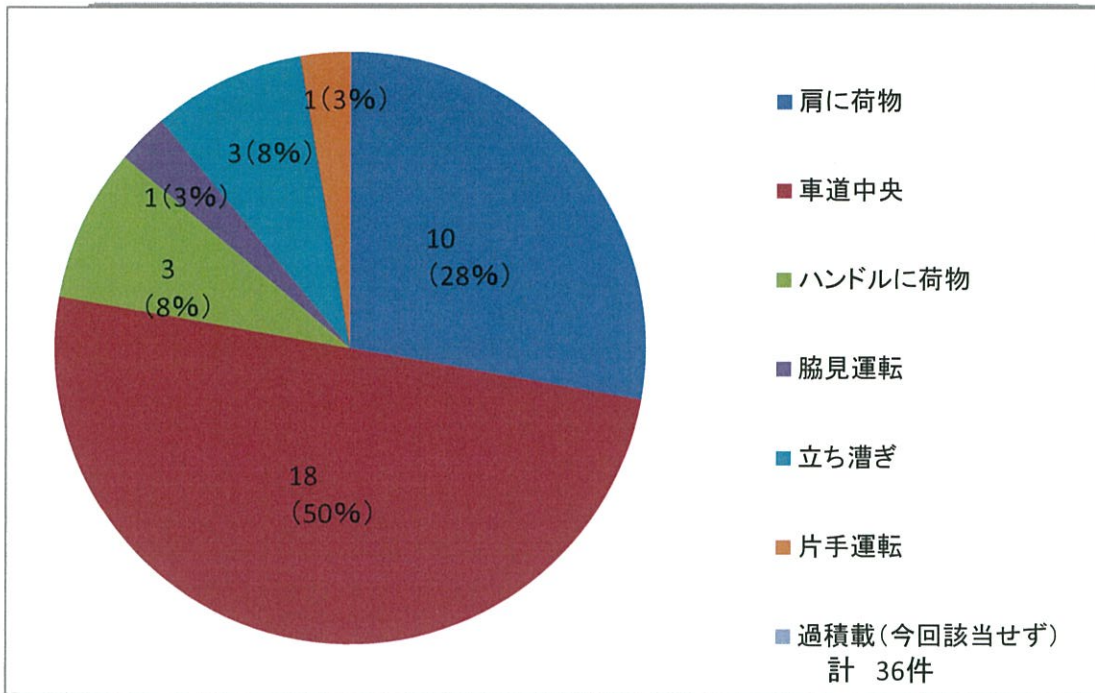
さらに、車道中央走行が多かった理由も、前回以前から同様に、上り車線先の庭園美術館西交差点において、歩行者横断帯中央にて左折道路と直進道路が分断されており、直進する利用者は、同交差点のかなり手前から 道路中央を走行していたが、4 車線での中間(両隣が 2 車線)走行のため車両に挟まれてながらと、かなり危険な走行を強いられている感が窺えた。



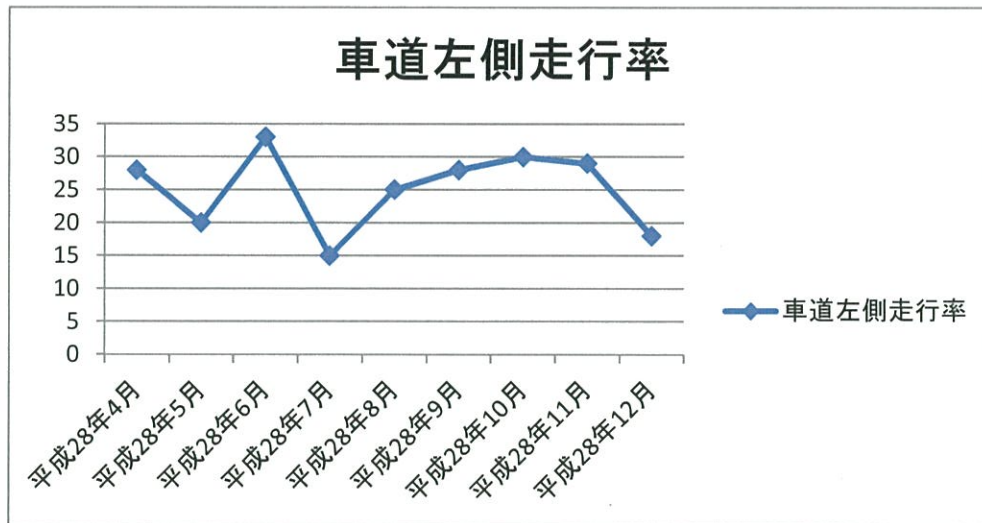
走行空間



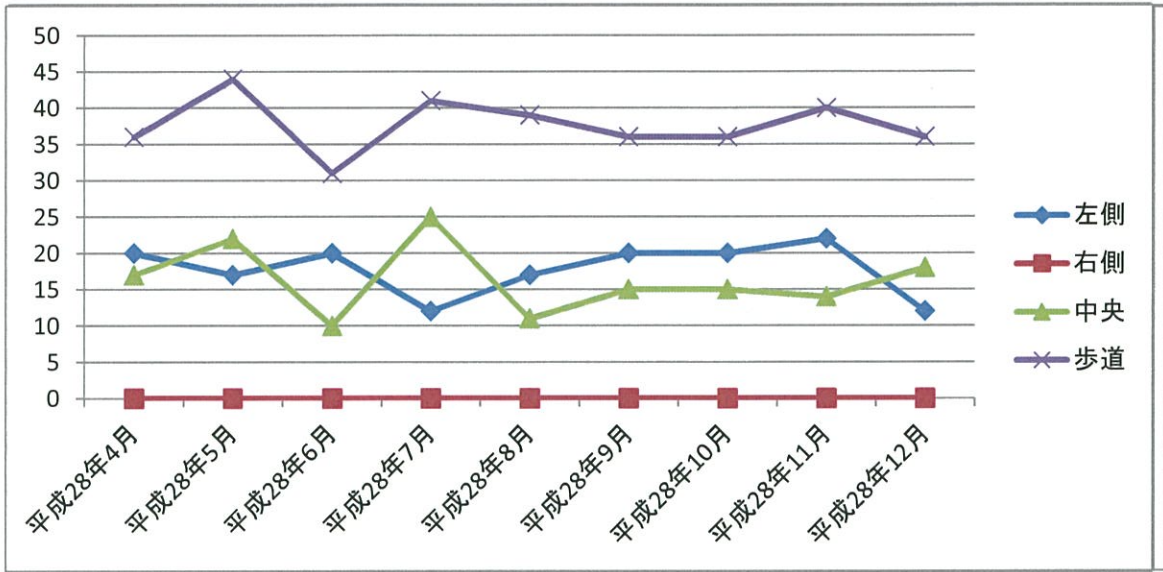
車種



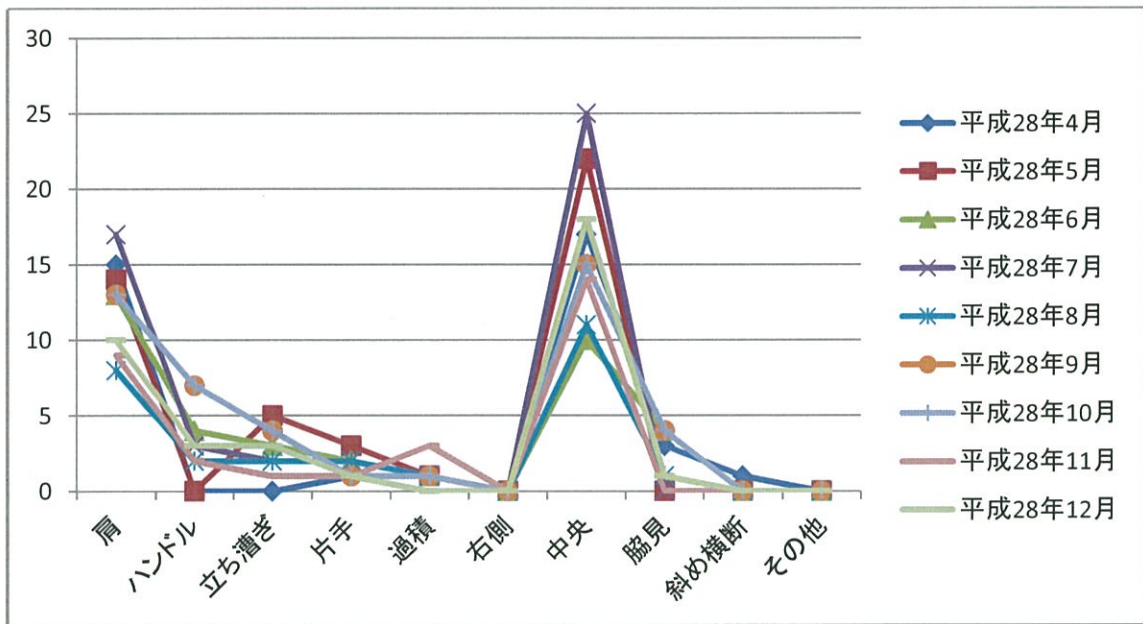
危険運転行為 (違反行為を含む)







走行空間 (台)



危険運転行為 (違反行為を含む) (件数)